

日本学術会議主催 公開シンポジウム  
共催：防災学術連携体（50学会）  
2016年5月2日 日本学術会議講堂

# 熊本地震・緊急報告会

## 【避難・救助・救援について】

### 日本集団災害医学会

#### 内容

1. DMAT等の活動
  - 1-1. DMATの活動
  - 1-2. ドクターヘリの活動
  - 1-3. 病院避難
2. 医療救護班活動
  - 2-1. 日本赤十字社
  - 2-2. 都道府県
  - 2-3. 日本医師会（JMAT）
  - 2-4. その他
3. 専門領域における医療救護
  - 3-1. DPAT（精神科）
  - 3-2. 母子周産期医療
  - 3-3. 深部静脈血栓対策
  - 3-4. 感染管理
  - 3-5. その他

## DMAT等の活動

### 1-1. DMAT（17日 03:40現在）

全国222班1028名

（派遣の内訳）熊本県内 210班977名

大分県 11班51名

4月23日15時30分待機終了（各拠点支援を除き撤収）

#### <活動内容>

病院避難、病院支援（被災患者対応、治療、搬送等）  
情報収集（透析患者情報  
病院被害情報、避難所情報） 救護所支援  
県庁のDMAT熊本県調整本部支援

## DMAT等の活動

### 1-2. ドクターヘリ

ドクターヘリ搬送患者数

	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	
熊本	9	3	5	3	4	24
福岡久留米	1		1			2
佐賀		4	0	2		6
長崎	3	3	2		3	11
宮崎	2				1	3
鹿児島	4	5				9
福岡和白	1	0	2	2		5
山口	2	2				4
広島		2	0			2
岡山	1					1
高知	1					1
徳島	1	1				2
兵庫豊岡	1	1				2
兵庫加古川	1	2				3
	27	23	10	7	8	75

ドクターヘリ統括本部長 町田 浩志 作成

# 1-3 病院避難

種別	医療圏	医療機関名	科別	事由
病院避難	阿蘇	阿蘇立野病院	透析	
病院避難	阿蘇	やまなみ病院	精神科	柱壁に亀裂、周囲の地盤沈下
病院避難	上益城	希望ヶ丘病院	精神科	水枯渇
病院避難	上益城	益城病院	精神科	
病院避難	熊本	あおば病院	精神科	建物傾き有スプリンクラー破損
病院避難	熊本	小柳病院	精神科	建物一部倒壊
病院避難	熊本	熊本森都病院	総合	高架水槽の水漏れで病床利用不能
一部転院	熊本	熊本市民病院	総合	診療中止入院患者避難済
屋外避難	菊池	大津町セントラル病院	総合	建物内西館漏水
自主避難	熊本	山口病院	総合	病棟罅割、水枯渇
	阿蘇	平田病院	総合	
	阿蘇	家入整形外科	総合	入院病棟現在閉鎖中
	上益城	東熊本病院	総合	
	上益城	益城中央病院	透析	透析患者
	熊本	帯山中央病院	総合	亀裂あるも拡大なし
	熊本	菊池病院	精神科	
	熊本	熊本機能病院	総合	回復期リハビリ病棟一部使用不可
	熊本	熊本整形外科	総合	施設一部破損
	熊本	光洋台病院	療養	渡り廊下亀裂
	熊本	自衛隊熊本病院	総合	本館病棟破損

## 医療救護班活動

### 2-1. 日本赤十字社

日付	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
チーム数	7	6	27	33	24	27	18
日付	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日
チーム数	22	21	22	19	23	19	21
日付	4月29日	4月30日	5月1日	計			
チーム数	21	19	17	346			

約1730名

## 医療救護班活動 2-2. 都道府県

- 第1陣 35都道府県35チーム
- 第2陣 5チーム

### <活動内容>

病院支援（被災患者対応、治療、搬送等）  
救護所支援  
県庁のDMAT熊本県調整本部支援  
など

## 医療救護班活動

2-3. JMAT（JRAT、日本小児科学会を含む）  
5月1日現在

派遣終了（4月22日～）

: 256 チーム 1010名

派遣中

: 54 チーム 264名

派遣準備中

: 117 チーム 518名

## 専門領域における医療救護 3-1.DPAT

### 急性期

- 熊本県庁にDPAT調整本部設置
- DMAT・自衛隊と協働し、精神科病院避難搬送  
約600名の患者を搬送

→病院、

### 現在

- 精神保健医療ステージ – 保健師活動のサポートが中心
  - 1) 家に戻ることが難しい方 – 中長期的なフォローが必要
  - 2) 余震・ライフライン・高齢者・障がい者 – 5～6月頃には帰宅
- 4月28日時点で、派遣数は延 256 隊が活動

### 中長期

- 家に戻ることが難しい、かつ自主再建が困難な方が残る
- 災害時要援護者は、残る率が高いだろう

## 専門領域における医療救護 3-2. 小児周産期

- JMATの枠組みで、日本小児科学会  
がのべ21名が4月30日まで支

### 活動内容

NICUの病院避難、重症小児、切迫早産の妊婦の県外搬送  
避難所に対し、分娩取り扱い施設情報などのパンフレット提供  
小児科医、産婦人科医、助産師、保健師チームで避難所巡回  
など

## 専門領域における医療救護 3-3. 深部静脈血栓対策

熊本県、熊本市、厚労省、国立循環器病研究センター、  
熊本大学循環器内科、日本循環器学会などによる  
熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト

Kumamoto Earthquakes  
thrombosis and Embolism Protection Project  
(KEEP Project)

支援団体

日本静脈学会  
熊本県内医療機関  
新潟大学  
日臨技

ゴールデンウィークエコノミークラス症候群検診(呼称)

期日 5月3,4,5日

対象 熊本市4区 北 中央 西南

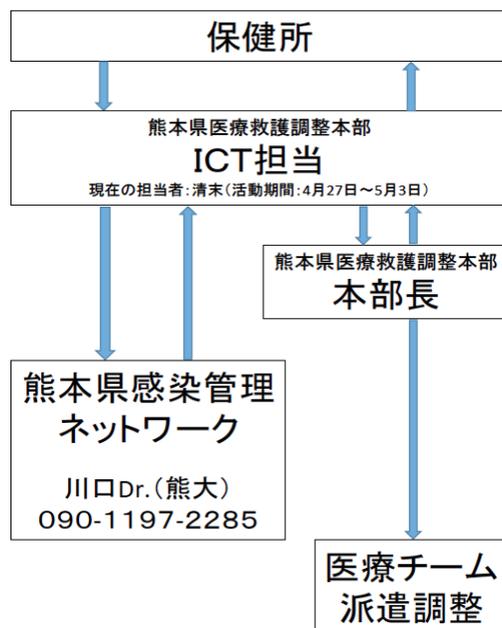
場所 各区2カ所で計8カ所

主催 熊本市

協力共催 日臨技

調整本部 熊本市保健医療救護調整本部DVT対策班

## 専門領域における医療救護 3-4. 感染管理チーム (4/20～)



【県庁窓口】

熊本県感染管理ネットワーク  
熊本大学、熊本赤十字病院  
厚労省感染症担当  
防衛省陸上幕僚監部衛生部  
熊本県健康福祉部医療政策課  
熊本県医療救護調整本部

【実働】

熊本県内医療機関、救護班、自衛隊ICT  
長崎大学、鹿児島大学、神戸大学、  
熊本整形外科、さくら総合病院、  
日本環境感染学会、災害医療ACT研究所  
PCAT

## 専門領域における医療救護 3-5. その他

関係団体名	略称
日本栄養士会支援チーム	JDA-DAT
熊本県柔道整復師会	
大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会	JRAT
日本病院薬剤師会	
全国臨床検査技師会	
日本臨床衛生検査技師会災害支援チーム	JAMT
日本鍼灸師会	
診療放射線技師会	
日本看護協会 災害支援ナース	